



参加企業・団体 取組紹介まとめ


< 令和 4年（2022年）1月末時点 >

目次

1	アイザワ証券株式会社	P 1	11	社会福祉法人聖徳園 あしや聖徳園	P 6
2	株式会社アクティブライフ	P 1	12	生活協同組合コープこうべ	P 6
3	学校法人芦屋学園芦屋大学	P 2	13	地域福祉アクションプログラム推進協議会	P 7
4	社会福祉法人芦屋市社会福祉協議会	P 2	14	ちきゅうっ子応援隊	P 7
5	芦屋市民生児童委員協議会	P 3	15	阪急阪神ホールディングス株式会社	P 8
6	株式会社芦屋人	P 3	16	兵庫県住宅供給公社	P 9
7	株式会社笠谷工務店	P 4	17	株式会社フィッシングマックス	P 10
8	社会福祉法人かんでん福祉事業団エルホーム芦屋	P 4	18	株式会社ブランツ・キューブ	P 10
9	社会福祉法人きらくえん あしや喜楽苑	P 5	19	株式会社ポップ・アイディー	P 11
10	社会福祉法人三田谷治療教育院	P 5			

▶ 地域づくりにつながる取組や活動など

しっかりとした地域貢献活動により信用を積み重ね、より多くの人に証券投資を通じより豊かな生活を提供

- 社員全員が認知症サポーターであり、周辺地域と「高齢者見守り活動」を実施
- 認知症の講座やロコモ予防の講座など、専門家を招き無料でスクールセミナーを開催
- 次世代への金融（証券）リテラシー教育
デジタル紙芝居＝小学生を対象に子どもたちにもわかりやすくお金について学んでもらう
- 地域活性化バスツアー「若旅」
- クロスボーダー型インターシップ（地域人材育成・地域企業支援）
- 高校生向けインターシップ
- 提携税理士法人与協力した事業承継支援サービス
- 芦屋市商工会議所青年部を通じた地域活動
- 中学校に出張金融教育授業
- 大学生向け寄附講座、アイザワゼミの開催
- 職場見学体験の受入
- 支店会議室スペースの無料貸し出し  芦屋市



▶ 地域づくりにつながる取組や活動など

高齢者への質の高いサービスを通して、真に豊かで安心な社会の実現へ

～地域の皆さまに支えられ、アクティブライフ山芦屋は開設14年・アクティブライフ芦屋は開設16年を迎えました。より多くの住民の方に知っていただけるよう今後も地域活動を継続して参ります～

- 介護予防教室・夏祭りや餅つきなどのイベント開催
- 地域住民へのサロン提供（ギャラリーや自治会の集いで活用）
- 入居者と子どもの交流の場の提供
- 地域包括支援センターの運営

今後は、地域への更なる「場の提供（場所・機会）」により地域への貢献を図りたい



アクティブライフ山芦屋（山芦屋町）



アクティブライフ芦屋（岩園町）



▶ 地域づくりにつながる取組

- 2016年11月、あしカフェがオープン。
障がいのある人の就労支援として運営している。
芦屋サマーカーニバルの観覧等、地域住民にも開放している。
- 10月には学園祭があり、近隣住宅にも広報し、地域住民の参加を募っている。
- 芦屋大学の施設はギャラリーや講演会等にも利用できる。
施設の利用内容によっては大学のバスの利用や、学生ボランティアについても、相談があれば検討していただける。

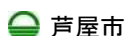


↑ ↓ あしカフェの外装・内装



▶ 印象に残った言葉

- 地域に愛される大学を目指している。
自由な発想で地域とつながっていきたい。
- 学生と密接に関わることを大事にしている。
一人一人を大切にサポートできるようにしていきたい。



芦屋市

芦屋市社会福祉協議会

▶ 地域づくりにつながる取組

- 芦屋市地域発信型ネットワーク（地域活動者、関係機関、行政等による地域課題を解決するためのネットワーク）
 - 地区福祉委員会の設置（民生委員と福祉推進委員による小地域福祉活動の推進）
 - 協力事業者による地域見まもりネットワーク事業（協力事業者との連携による見まもり体制づくり）
 - 生活困窮者自立支援制度 自立相談支援事業（「総合相談窓口」等の機能を活かし、生活困窮者が抱える複合的な課題を包括的に受け止め、自立までを継続的に支援）
 - 生活物品等ゆずりあいネットワーク事業
 - 認知症サポーター養成講座の開催（各事業所等でも開催）
 - 高齢者生きがいデイサービス・高齢者のつどい事業の実施
 - プラスワン事業（多世代交流拠点づくり）・介護予防養成講座
 - 介護保険事業（訪問介護、通所介護、訪問看護、居宅介護支援）
 - 芦屋市受託事業（高齢者生活支援センター、高齢者住宅等安否確認事業、障がい者相談支援事業、生活支援体制整備事業等）の実施
- ※ 上記の他、複数の事業を実施



芦屋市地域発信型ネットワーク
（小地域福祉ブロック会議）



高齢者のつどい



多世代交流拠点「ブーケ」(大東町)



認知症サポーター養成講座

▶ 印象に残った言葉

- 社協は住民の方に最も近い団体であると考えている。地域に出向き、住民と顔の見える関係性を構築していく。



芦屋市

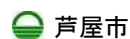
▶ 地域づくりにつながる取組

- 地域での見守り活動を行っている。
- 地域の身近な相談に応じ、必要な支援が受けられるように専門機関とのつなぎ役になっている。
- 専門機関と連携する等、地域住民の実態を日常的に把握している。
- 社会福祉の制度やサービスについての内容、情報を研修会で学び、地域住民に提供している。
- 子どもや子育て家庭への支援を行っている。



▶ 印象に残った言葉

- 地域の子は地域で育てるのが良い。
- 地域のことを地域で見るときには、“守秘義務”を大切にすることが必要である。
- 地域のことを地域で見るときには、“責任”についても考える必要がある。



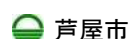
芦屋市

株式会社芦屋人

▶ 地域づくりにつながる取組や活動など

芦屋を情報発信で盛り上げよう

- 「芦屋で暮らすことが楽しくなる」をコンセプトに地域インターネット情報サイト芦屋人（あしやびと）を運営
- 引っ越しの際に、生活する土地としてのイメージができるような、情報発信を行っている
- 「フリーペーパー『芦屋人』」の発行
- 「WEBマガジン～黒帯～」，「子育てマガジン～キッズ黒帯～」，「芦屋のおけいこ」，「スイーツ速報」の配信
- 情報発信の際には社員が現地に行き、インタビューを行い、顔の見える関係をつくる
- 地域の生の情報を発信し、ホームページの閲覧数は月60万回



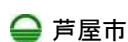
芦屋市

▶ 地域づくりにつながる取組や活動など

1906年創業

～事業に関わるすべての人の幸せを追求し、いつの時代も社会から愛される企業として、お客様の信頼を得られる技術力を提供し続ける～

- 芦屋サマーカーニバルへの協賛、さくらまつり等地域イベントに対し各団体を通じ参画している。
- 芦屋市と連携しながら芦屋建設業組合を通じ、「あしや防災まつり」を企画
防災活動は地域のコミュニティづくりにつながるとの認識のもと取組を推進している
- 本業を通じ、芦屋の街並みづくりへの貢献を果たすことに加え、安定的雇用の維持に努めている。
- 芦屋建設業組合、芦屋防犯協会、芦屋交通安全協会、芦屋防衛協会等に参加しており、「芦屋のためにできることをしたい」との強い思いがある。
また、同じ思いを持つ企業・団体とのつながりが深い。

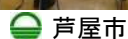


▶ 地域づくりにつながる取組や活動など

特別養護老人ホーム・老人保健施設・ケアハウスの施設サービスと各種在宅福祉サービスの事業を行う高齢者総合保健福祉施設として、居場所づくりの「楽しさ」、「大切さ」をお伝えしています。

そして、「ひとり一役活動」も含め、ボランティア活動等の支援を行いつつ、次のような活動により地域支え合い活動につなげています。

- 地域と連携して「オレンジカフェ（認知症カフェ）」、「折り紙カフェ」などの開催
- 地域交流スペースの活用（体操、コーラス等）
- 幼稚園・保育所等とのふれあい行事、小・中学生等の体験学習
- 「兵庫県地域サポート施設」の認定をうけ、地域の皆さんの居場所づくり
- 子育て世代への支援（「さるっこ幼児グループ」、「赤ちゃんの駅」）



▶ 地域づくりにつながる取組

- 地域活動ができる場の提供
地域交流スペース、喫茶スペース、あしや喜楽苑ギャラリー、ケアローソンなど、地域住民が利用、活用できるスペースが豊富であり、開設以来住民向けのイベント等を実施している。
- 地域住民の「やりたい！」を応援
地元の潮見南ボランティアによる活動を引き継いで、社会貢献をしたいと思っていたボランティアグループとのマッチングにより、あしや喜楽苑での園芸ボランティアが始まるなど、地域住民の活動を積極的に受け入れている。



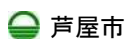
喫茶スペース



地域交流・相談スペース

▶ 印象に残った言葉

- 地域住民がしたい活動ができる場として、あしや喜楽苑の資源を活用してほしい。
- 「やってください」とお願いするのではなく、「やりたい」と思ってもらえるような魅力的な取組の内容や、情報発信の方法を模索している。



▶ 地域づくりにつながる取組や活動など

障がいのある人やひきこもり状態の方、生きづらさを感じている方への支援を通して共生社会の推進に貢献していきたい

働く場や働く体験のできる場を広げていきたい

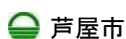
- 三田谷フェスティバルを開催し、障がいのある人と地域で暮らす方たちとの交流の実施
- 余暇支援の一つとして、音楽療法「満天の会」を地域に提供
- 高齢者や地域の方がいきがいをもって生活を送れるよう施設の屋上庭園の活用
- 朝市野菜販売の実施
- 地域の事業所でのボランティアへの参加
- 2号線の歩道の清掃活動
- 芦屋市の委託事業を通して、市内の公園、保健福祉センター等の清掃活動



●ピアサポート活動



●三田谷フェスティバル



▶ 地域づくりにつながる取組

- パワーチャージプログラム（地域貢献事業）
 - ・ 地域住民等に得意なこと（司法書士、アロマ等）で、講師になってもらい講座や交流会を実施。
地域で活躍してもらおう場や地域住民の交流の場の創出として取り組んでいる。
- きめ細やかな地域活動の情報収集＆人材、ニーズ発掘
 - ・ 職員が積極的に地域に出向き、様々な機会をとらえ地域活動の情報を集めている。さらに、実際に地域活動に参加し、人材発掘や住民ニーズの把握をしている。



施設外観



和風園の地域交流スペースでの活動のようす

▶ 印象に残った言葉

- 行政や社会福祉法人は、地域住民にとっては“非日常”であるため、地域住民の“日常”のなかでの全世代交流を目指すためには、民間との協力が不可欠だと感じている。
- 地域住民の主体性を損ねないよう、住民との関係性を大切にしながら、地域特性も踏まえつつ、取組を丁寧に進めている。



芦屋市

生活協同組合コープこうべ

▶ 地域づくりにつながる取組や活動など

- 地域コープ委員会活動・サークル活動等への支援
 - ・ 各店舗にある組合員集会室の開放
 - ・ つどい場づくり（立ち上げ時15,000円の助成）
 - ・ コープのテーマに沿った活動への助成（15,000円）
 - ・ 地域活動、資源の見える化「ためまっぶ芦屋」
- 生活困窮者や食の支援団体へのサポート
 - ・ 芦屋市・社会福祉協議会と連携したフードドライブ常設
 - ・ 店舗の販売期限切れ商品の地域活動団体への提供
 - ・ 組合員からの募金を活用した学生支援（食材・奨学金）
- 買い物支援、地域での見守りの取り組み
 - ・ 移動店舗の運行（東山町・打出小槌町・宮川町）
 - ・ 宅配、店舗利用者に対する見守りの実施
- 暮らしとSDGsの啓発学習
 - ・ 精道中学校、芦屋高校への出前授業
- 芦屋市との地域包括連携協定締結



芦屋市



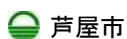
▶ 地域づくりにつながる取組や活動など

市民と市民活動を支援する団体、市とともに、公民協働で地域福祉の推進を目指す

- 地域のイベントへ参加し、地域福祉の啓発を行う
- あしや保健福祉フェアにて「地域福祉アクションアワード」を開催し、地域で活躍している団体や活動の発表・表彰を行っている
- 「あしや発信局玉手箱」住民同士の情報発信の方法を検討
- 「スマートおせっかい」イベントを通じて居場所づくりを目指す
- 「キラッとプロジェクト」生活の知恵や他者への配慮などの情報やヒントを伝える「いのちまもるあしや～減災リーフレット～」 「いのちまもるわたしノート」の発行
- 「わがまちベンチプロジェクト」まちの中に一休みできるベンチを設置し、人と人がつながるきっかけづくりを行う



地域福祉の推進に向けてともに活動して下さる方をお待ちしております。



芦屋市

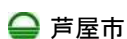
ちきゅうっ子応援隊

▶ 地域づくりにつながる取組や活動など

- 保育士や環境教育に関心がある者の集まり
活動は子どもを中心に、お父さんお母さんやきょうだい、家族みんなで体験していただくことを目的にしている。
- 就学前の子どもたちを対象に、体験を通して「自然環境の大切さ」を学ぶ機会の提供
- 男女共同参画センターと協働し、父親の育児参加を応援する活動として、「今日からイクメン」のプログラムを実施
- 市内の各小学校のキッズスクエアにて、小学生対象の環境・理科学習プログラムを実施してきた。



森の美術館



芦屋市



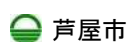
▶ 地域づくりにつながる取組や活動など

- 健康ポイント事業
スマホアプリ、WEBサイト、フリーペーパー等の活用
リサコンと連携 さらにツール改良。
- 健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス連携事業
糖尿病重症化予防事業
- 上記二つも含めた、健康寿命延伸沿線産官学民連携
- ソーシャル・インパクト・ボンド活用の推進
神戸市で始まった糖尿病重症化予防事業
- 地域包括ケア支援ICT
総合データベースの構築 母子ヘルスケアへの展開



▶ 印象に残った言葉

- 鉄道を持つ企業として自治体間の連携支援することで横串を刺すことができる。
- 多くの自治体と連携することができ、沿線にお住まいの方の健康状態を良好に保つことができれば、ひいてはそれらが沿線の居住魅力となる。



芦屋市



▶ 地域づくりにつながる取組

○ あんしんステーションの設置

（団地及び地域に住まう高齢者の安心をサポートする為、ケアマネジャーやヘルパーの事業所を家賃無料で空き住戸に誘致し、地域の無料相談所とする）の設置

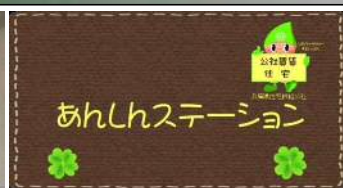
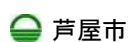
○ またあしたプロジェクトの実施

（平成28年度から取り組んでいる、芦屋浜自治連合会や武庫川女子大学と共に、地域連携チームを発足し、敷地内の集会所をコミュニティ拠点として改修、地域コミュニティ活性化を目指すプロジェクト）の実施

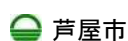
▶ 印象に残った言葉

- 地域住民のモチベーションを高めるため、取組の様子をもっと発信していきたい。
- 単なる地域連携ではなく、結果的に定住者の増加、団地の魅力向上が必要である。

⇒正に基礎自治体である市が目指すべき方向性！



芦屋浜自治連合会×武庫川女子大学×兵庫県住宅供給公社
またあしたプロジェクト



株式会社フィッシングマックス

Create The Future
ASHIYA
CITY OF I.C.G.R.E.

▶ 地域づくりにつながる取組

- 営業当初から釣具を売りっぱなしにするのではなく、釣場をきれいに保つということをセットで実施
- 芦屋地域の方との連携で、清掃啓蒙活動実施や芦屋市青少年野球チームと合同での清掃活動の実施
- 2021年11月/12月 芦屋浜の海の生態学習や釣りの楽しさなどキッズスクエアにおいて教室を開催
- 月2回シルバー人材センターに釣り場の清掃を委託

▶ 印象に残った言葉

- 南芦屋浜公園は日本随一の釣りができる場所である！PR次第でもっともっと可能性がある！
- ごみを持ち帰ることが当たり前の世の中になってほしい

 芦屋市



株式会社プランツ・キューブ

Create The Future
ASHIYA
CITY OF I.C.G.R.E.

▶ 地域づくりにつながる取組や活動など

「WAKUWAKU」が自立支援の合言葉！
～障がいのある人の自立を支援し、
こころのバリアフリー化、共生社会を目指しています～

○2016年11月より、就労支援センター「あしかふえ」の運営に携わる。芦屋大学内でのカフェの運営を通じ、障がいのある人にとっては雇用の場、学生にとっては学びの場、地域の方にはコミュニティの場として提供。（平成30年度ひょうごユニバーサル社会づくり賞受賞）

○2017年5月より、芦屋特別支援学校の職業体験の一環で、実習場としてカフェを活用。

○2018年9月あしやふるさと寄付金に参加し返戻品の作成開始。

○兵庫県や芦屋市、商店街の様々なイベントに障がいのある人とともに参加し、共生社会の実現に取り組んでいる。

○木口財団主催のワークショップに参加し、ペーパーフラワー等の作成指導を通じ地域のみなさんと交流。

 芦屋市

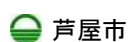


▶ 地域づくりにつながる取組や活動など

- 自社で展開している、オリジナルキャラクターブランド「POPCOLLECTION (ポップコレ)」のメインキャラクターである『イヌメンZ (ゼット)』は、バイクが大好きであり、交通安全を推進している。子ども好きなイヌメンZは、特に子ども達の巻き込まれる交通事故を防ぐために活動している。
- キャラクターを使った交通ルールの案内をまとめて配布。子どもだけでなく、車やバイクに乗る大人へ「子どもの特性」を知ってもらうためにわかりやすくイラストでまとめている。

▶ 印象に残った言葉

- バイクを愛するがゆえに「バイク＝危険」という認識を少しでも減らしたいという思いが強く、まずは地元の子供達にしっかりと交通安全の意識付けをしていくところから始めている。
- キャラクターを使うことで、少しでも子ども達の中に『何が危険行動なのか』ということが残っていてほしい。



「こえる場！」
参加企業・団体 取組紹介まとめ

令和4年1月

発行 芦屋市

※「印象に残った言葉」は、平成29年度の活動において、
インタビューを行った職員により記載しています。